

# 山本助産院だより

2016. 3

236-0031

横浜市金沢区六浦 2-14-12

TEL 045-788-6601

http://yamamotojyosanin.com



お知らせ

◆藤田伸二医師による乳児健診が助産院地下であります。  
3月17日(木)①13時～②14時～  
15時から藤田先生を囲んでのQ&Aのコーナーがあります。  
料金は3000円(横浜市補助券の対象です。)  
予約は、助産院まで。お待ちしております!

## \*詩子のつぶやき\* vol.52 中馬のおひなさん

先日、愛知県に住む友人の所を訪ねた折、足助の「中馬のおひなさん」見に行こうと誘われ、行ってきました。中馬のおひなさんは、足助の古い町並みの民家や商家に古くから伝わるお雛様や土人形を玄関先に飾り、道行く人々に町並み散策を楽しんでもらおうと始まった足助のイベントとのことでした。

中馬と呼ばれる人たちは、江戸時代に、信州の馬稼ぎ人たちが作った同業者組合のことで、足助を行き来したことから街道は別名『中馬街道』とも呼ばれています。

中馬のおかげで、街道の中継地点だった足助は、三河湾からの塩、信州からの米やたばこなどの山の産物が集まる交易都市として栄えたそうです。お雛様を飾っている商家の7代目当主という方とお話をしました。間口はさほど広くないのですが、奥行き70メートルもある大屋敷で、昔の繁栄がしのばれました。時を経て、後継者が、この建物を維持できず、市に寄贈することが決まったとのことでした。

古い町並みは、いくつもの時代を経て、人々に引き継がれてきました。この先、古い商家は、復元され末長く足助の宝となり、訪れる人が楽しめる場所として残っていくことでしょうか。

街道沿いには、沢山のお雛様が飾られていて、中には、江戸時代のお雛様もあり、見ごたえのある雛街道でした。

川の流れも、山々の景色もすべてが美しく忙しい日常を離れ、足助の街を堪能してきました。

時代は移り変わり、住む人々も変わっていきますが、美しいものは、美しいまま引き継がれていってほしいと思いました。

残すこと、残っていくことがいかに難しく大変であるかも、またこの旅を通じて感じたことでもあります。

さて、山本助産院は、どのように残りどのように繋いでいきたいと思いますか??時代は変われど、いつまでも母と子が、集える場所としてつないでいてほしいものです。



## ◎親と子のつどいの広場 たんぽぽ◎

「たんぽぽ」がオープンして、1ヶ月ほど経ちました。小さな子を連れてたくさんのママ達が助産院に訪れてくれて、さらに活気のあるにぎやかな場所になりうれしいです。

スタッフもみなひろは初心者で(育児はベテラン!子育て支援のベテランもいますが) どうしたら良い広場になるだろう、と日々知恵を絞りながら、みなさんをお迎えしています。

明るく楽しく、ホッと一息つける広場を、利用者みなさんも一緒に作り上げていきたいと思っています。

広場では、裁縫の得意なスタッフがひとつずつ手作りしたスタイキットをおいています。妊娠中からスタイを手作りすることもできます。

妊婦さんも小さな赤ちゃん連れの方も、ぜひ遊びに来いらしてください♪



## ～カフェコーナー はじめました～

助産院に来院されるみなさまに、自由に飲んでいただけるカフェコーナーが登場しました。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| <コーヒー>    | <紅茶>        |
| ・マイルドコーヒー | ・ブレンドティ     |
| ・エスプレッソ   | ・アップルマンゴーティ |
| ・カフェラテ    | など          |
| ・カプチーノ    | 1杯 100円     |



たんぽぽスタッフ手作りのお菓子やパンを販売している日もあります。忙しい育児や家事や仕事の日々にほっと一息、どうぞご利用ください♪

## 「ルー陸筆～ママたちの文化祭 2015 スタッフより

白井明実

2女と1男の母です♪

はじめまして。うちには年長、年少の女子2人に1歳3カ月になる男の子がいます。

上2人は池川クリニックで出産し、下の子を山本助産院で出産しました。

近場に良い産婦人科と産院に恵まれて、どの子も素敵なマタニティライフ&出産体験をさせてもらいました。

うちは3人とも9カ月まで逆子。。上2人は池川先生直伝の胎児に語りかけ、お願いをする 身体を温める事を意識しました。毎日お腹の赤ちゃんに向かって「こっちが頭にしてね～」と言い続け、2人目の時は夜中にクルッと回転したのが分かりました(笑)

3人目では語りかけはは勿論、お灸をしたり逆子体操をしたりしました。何が効いたのかわかりませんがいつの間にか頭を下にしてくれていました。

3人目の時、姉と妊娠時期が重なってしまい、産後の面倒を看てもらえるか不安でした。姉の出産、母や家族の都合上、予定日があたりに出てきてほしかったので、お腹の赤ちゃんに「予定日あたりで出て来てね～」とお願いしていました。

すると予定日ぴったりに陣痛が始まりパパも立ち会いする事が出来ました。お陰で産後も母に見てもらう事ができました。

お腹の赤ちゃんへの語りかけは想像以上に効果テキメン!!

長女は3歳の時に胎内記憶も話してくれました。今は覚えていないようですが。。

現在、1歳3ヶ月の長男がお話しできるようにになったら胎内記憶を聞いてみたいと思います。

